

for adult only

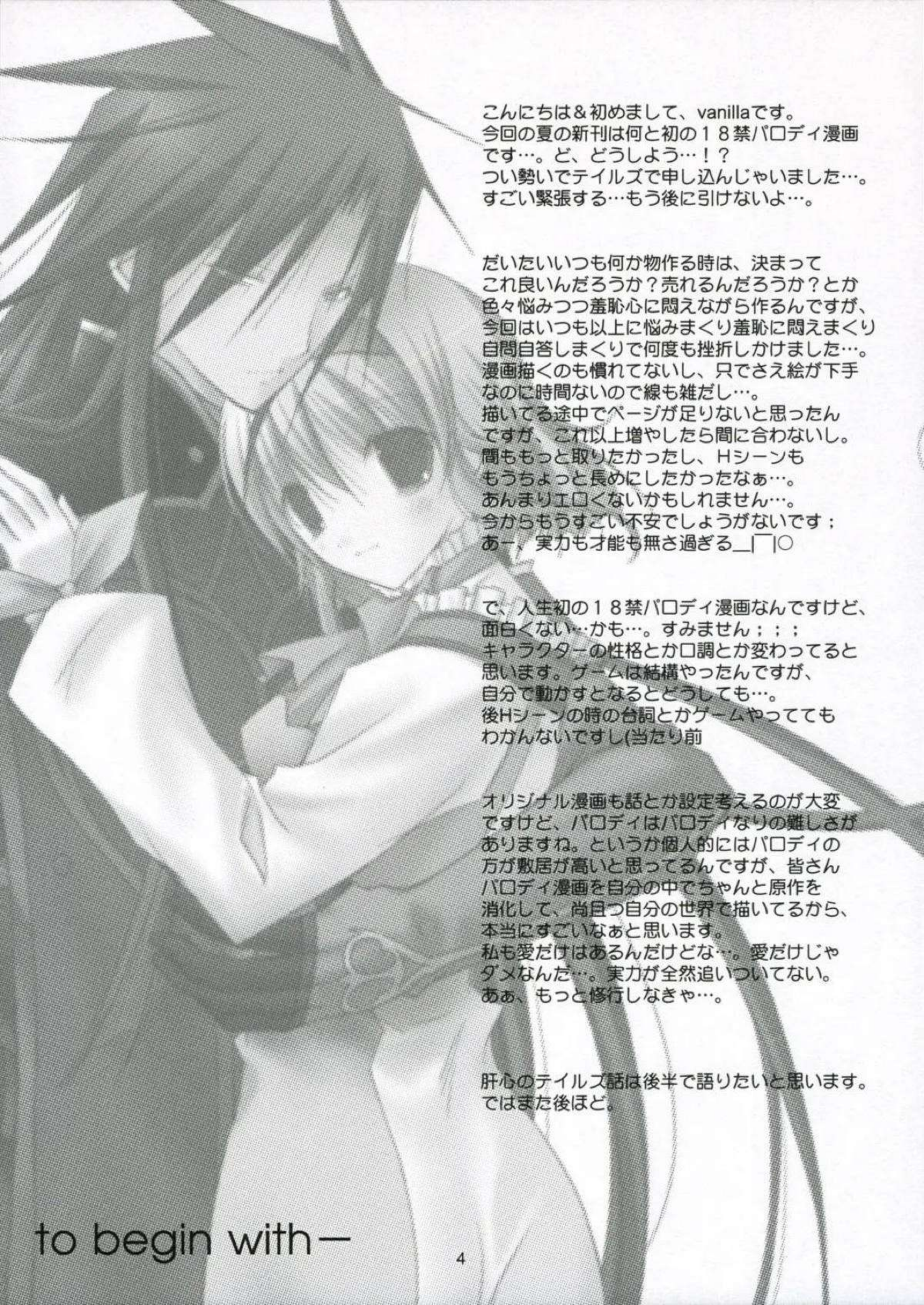


H O N E Y E E D

TALES OF THE ABYSS ASCH & NATALIA BOOK

H O N E Y E D

TALES OF THE ABYSS ASCH & NATALIA BOOK



こんにちは&初めまして、vanillaです。
今回の夏の新刊は何と初の18禁パロディ漫画
です…。ど、どうしよう…！？
つい勢いでテイルズで申し込んだじゃいました…。
すごい緊張する…もう後に引けないよ…。

だいたいいつも何か物作る時は、決まって
これ良いんだろうか？売れるんだろうか？とか
色々悩みつつ羞恥心に悶えながら作るんですが、
今回はいつも以上に悩みまくり羞恥に悶えまくり
自問自答しまくりに何度も挫折しかけました…。
漫画描くのも慣れてないし、只でさえ絵が下手
なのに時間ないので線も雑だし…。
描いてる途中でページが足りないと思ったん
ですが、これ以上増やしたら間に合わないし。
間ももっと取りたかったし、Hシーンも
もうちょっと長めにしたかったなあ…。
あんまりエロくないかもしれせん…。
今からもうすごい不安でしょうがないです；
あー、実力も才能も無さ過ぎる┐┌|○

で、人生初の18禁パロディ漫画なんですけど、
面白くない…かも…。すみません；；；
キャラクターの性格とか口調とか変わってると思
います。ゲームは結構やったんですが、
自分で動かすとなるとどうしても…。
後Hシーンの時の台詞とかゲームやってても
わかんないですし(当たり前

オリジナル漫画も話とか設定考えるのが大変
ですけど、パロディはパロディなりの難しさが
ありますね。というか個人的にはパロディの
方が敷居が高いと思ってるんですが、皆さん
パロディ漫画を自分の中でちゃんと原作を
消化して、尚且つ自分の世界で描いてるから、
本当にすごいなあと思います。
私も愛だけはあるんだけどな…。愛だけじゃ
ダメなんだ…。実力が全然追いついてない。
ああ、もっと修行しなきゃ…。

肝心のテイルズ話は後半で語りたいと思います。
ではまた後ほど。

タルタロス船内ー

さあ皆さん
お待ちせいたしました

お昼ごはんが
出来ましたわよ♪



ワイヨン鏡窟探索後
ダアトに向かう途中ー
ナタリアがどうしても
料理を作りたいと言うので
まあ飯食う時間くらいは
いいだろうと許可したのだが…

……
……
……

思ってたよりも
ビドイ…

思ってたよりも
さらにビドイ…

さすがナタリア
こちらの期待を
裏切りませんねー





鏡窟で貴方が助けて
くださったり 昔のこと
思い出してくださったのが
嬉しくて：
それで貴方のためにと
頑張ったんですけど：

私……

イオン様
しーしー



ナ……
ナタリアア……!!

あの……私やっぱり
余計なこととして
しまいましたかしら



あの時は
その……

そもそもお前は
王女なんだから
料理なんてしなくても
良いだろうが：



くっ……！
確かにそうだ……
このままではナタリアアの
好意が無駄に……！

ここで食わなかったら
俺の今までのこの
ナタリアアへの想いも
全て無駄になる……！



あーヒドイですねえ
アツシユは乙女心が判らない
と見える
おまけに愛する彼女の
好意を無駄にする気ですか？

誰も無駄にするとか
言っていないだろ！

ああ……別に
お前の料理を
否定してる訳では……



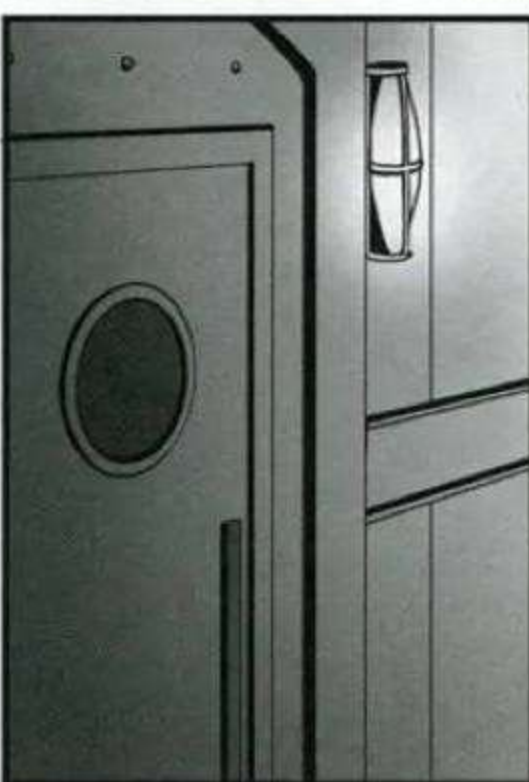
そうだ何をためらう
事がある……
コレなんか見た目は
一番ヒドイが

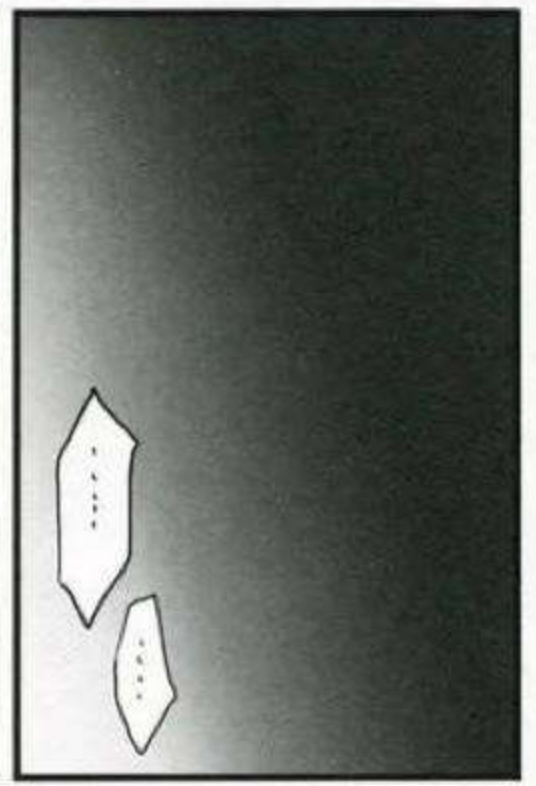
案外食べたら
イケるかもしれん
しな……！



ナ……ナタリアア
その何だ……お前の
料理は俺が食って
やるから……な

まあ
アツシユ……!!







そっちへ行っては
なりません!!

アツシユ!
死んじゃ
イヤですわー!!



大丈夫だ
ナタリア:

俺は無事に
帰ってきたから
アツシユ...

アツシユ...

本当に
無事で良かった
ですわ...



ん?

お前.....



ナタリア.....



それが...料理の時に
包丁は真っ二つになるわ
お鍋は黒コゲになるわ
コンロは大爆発するわで
つい焦ってそれらにヒール
かけまくってそれらにヒール
TPが無くなってしまっ
ましたの...

無意味な
行動は
ナタリアは
けい...
ナタリア

パスタを作るだけで
何故そんな大惨事に...
「100%の確率でナタリアは死
ニヤ



ここれはその
料理をした時に
つい...

こんなキズ
お前の治療術で
治せばいいだろう



手を怪我してる
じゃないか

あつ...

そ...そうか...
まあそのぶつ壊れた
厨房はジエイド達が何とか
してくれてるといいが...

それよりもお前
ヒールが使えないなら
その傷の手当て
しないとな

アツシユ!
私の心配より
貴方の方が...!

私の料理の所為で
お倒れになったのですよ?
大体下輪...
わが!

あ...ああ
倒れたみたいだが
俺は大丈夫だ

それよりお前の方が
心配だ 傷が残ったら
どうするんだ

ダメですわ!
貴方もつとご自分を
大事になさって

それに
貴方をこんな目に合わせた
私の心配なんて...
私は貴方に責められても
おかしくないんですのよ?

なんで俺が
お前を責めるんだ
お前は俺の為に
してくれたんだらう

確かにあの料理の
出来はちよつと
すごかったが...
お前は一生懸命やって
くれたんだらう?

第一俺の為に
お前が何かやる
必要なんてないんだよ

なんせ俺は...

ルークじゃ
ないんだからな

アツシユ...!

またそんな事...!

貴方はルーク
です...!

私の幼馴染の
ルークでは
ありませんか

どうして認めて
くださらないの...?



俺はもうアイツの
灰でしかない存在だ

7年前の…
全てを奪われた
あの時からな



…じゃあ
どうして…？

どうしてルークではない
と仰りながらも
昔の事を語ってくれたり
するんですの…!!



……

—何度も
言わせないでくれ



そんな事言わないで…!
私嬉しかったのに…

私と約束してくださった
のは貴方だったんだと
判って…私…っ



!…それは…
お前と少しでも
一緒に居た事で
甘えが出たのかもな

悪かった
忘れてくれ…



…貴方 先ほど
全て奪われたと
仰いましたわよね…



ルーク…



俺はもう…
ルークじゃないんだ



私：
貴方と居るだけで
こんなにドキドキして
ますのよ...

おおい
ナ...

こうすると...
私の心臓の音が
よく聞こえるかと
思っ...

...ルーク...
貴方だからですわ...
貴方だから
私はこんなに...

...それに私 貴方に
謝らなければと思っ...

7年前：戻ってきたルークを
貴方だと信じて疑わなかった
本当の貴方は別にいたと
いうのに...

...それは...
気付かなくて当然だろう
なんせアイツは俺の
完全なレプリカなんだし
私は...

でも完全に
似ているわけでは
ない...

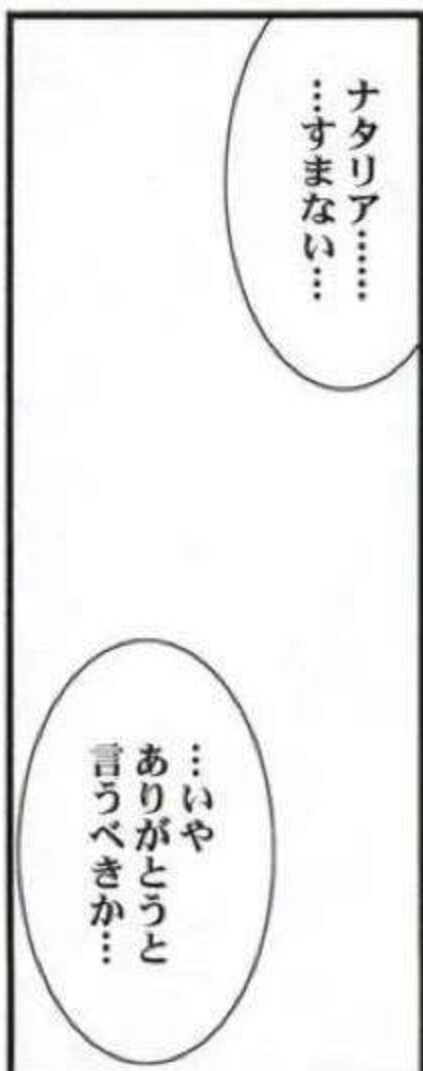
例え顔が同じでも
よく見れば貴方と
ルークが別人な事くらい
わかる筈なのに...
私は...

今まで気付いて
あげられ
なかったなんて
ごめんなさい...

...何も
お前が
謝ることでは
ないだろう...

いいえ...せめて
私だけでも...

本当に...
本当に...
ごめんなさい
ルーク...!!







はあ

はあ

はあ

ふあん…っ

あ…っ

あ…
はあ…ん

ナタリアア…
もつと気持ちよく
してやるからな…



あ…!!
あ…の…

はあ

はあ

だ…
だ…
ダメ…っ

や…ああ…
嫌…っ

はあ



ルーク…!!
ダメです
そんなとこ…
見せろ!!

お止めに
なつて
ルークっ

や…
はあ

はあ





ナタリア
いったのか…?

…あ…あの…はま
何か頭が…真っ白に…
なっ…て

ナタリア
今度は俺と
一緒に…

…っ!?



ルーク…!?

お前を見てたら
もう我慢
できない…

あ…っ??
い…や…ダメ…!
んく…あ…ッ

ん…や…っ
あ
ひ…くう…
ダメです…
こ…んなの…おっ



ナタリア…
お前の隙の中に…
挿れたい…
挿れていいか…?



…っ
少し恐いですけど
どうぞ…貴方の
お好きになさって

ルーク…っ



はい…

じゃあ 挿れるぞ
痛いかもしれないが
我慢してくれ…



んは…あ…









あつ...

ル ルーク...?
あの...っ



...さつきよりかは
滑りが良くなつて
少しはマシな筈
だからな...

...ふっ...あ
あ...あん...



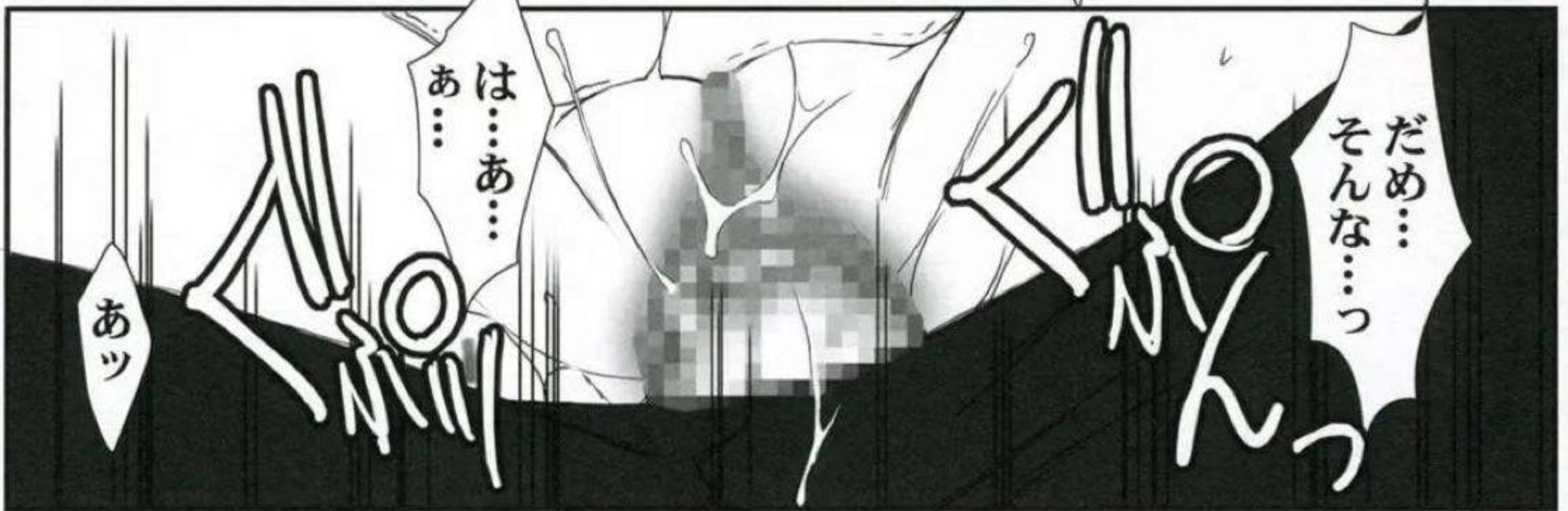
く...っ...
...ほらまた
お前の腔なかに俺のが
入つて.....

あ...あ...
ああ...ッ



.....ッ

やっ...
.....ッ!





は……ッ
あ……熱い……

あ……あ……ッ
ふあ……あん

あ……

……ッ



ああんっ♡

あ……



はっ……
やあん……

あっあっ



あ……ッ



あッ……！
は……激し……です……
……やッ……あ……

ふあ……あ

あ……あ……
ひあああ……あっ

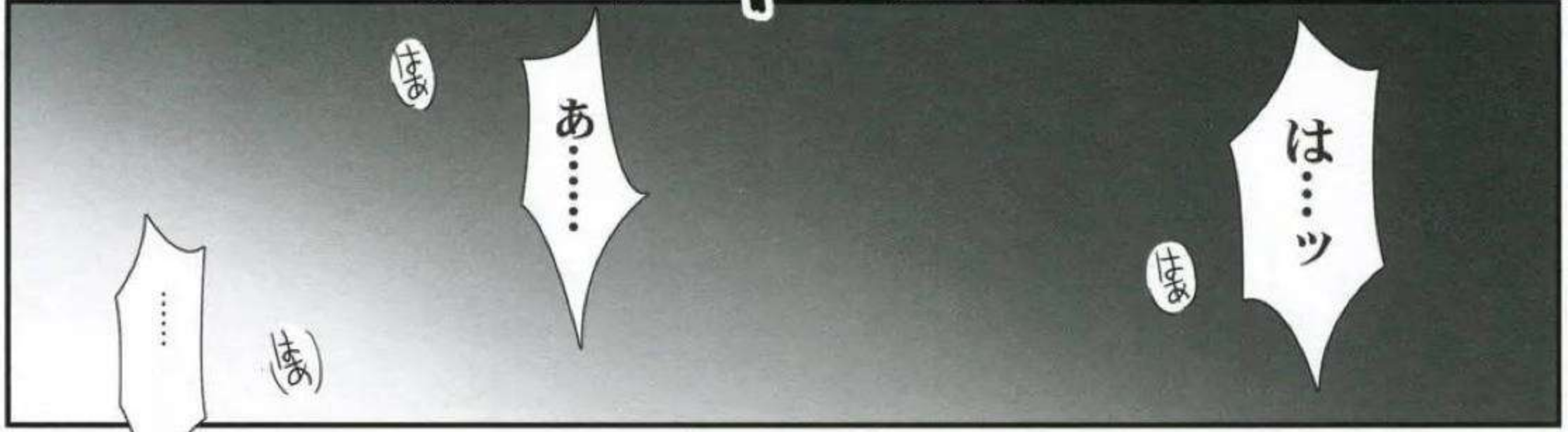


ふ...あッ
あああ...んッ

あ...あ...
あああ...ッ

ヒッ
ヒュッ

ヒッ
ヒュッ



は...ッ

あ...

...







At the end

す、すみません…！；ああ、穴があったら入りたい…。恥ずかし過ぎて死にそう…。
 こんなネタが思いつかなかったです。まあ最初は鏡窟行く前でルークに見られてたのに気付いてなかったって
 オチにしようとか、ぶっ倒れた際に大佐に処方してもらった薬に何か入っててつい…とか考えたんですが、
 最終的にこういう形になりました；

ナタリアの料理は外見含めココまで酷くないと思いますが、フェイスチャットやらベルナールさんに料理振舞う
 イベントでナタリアの料理食べた瞬間気絶したりするの見てたら、どうもイメージが膨らんでしまいます(笑)
 でもナタリアに料理させても料理自体失敗した事ないんですよ。エターニアの方が失敗率が高かったなあ。
 それとも皆マズイけど我慢して笑顔で食べて…？ だとしたら泣ける(;´Д`) でもだからなのかしら？
 その後の戦闘でガイがよく戦闘不能になってるんですが(笑) やっぱこれってナタリアの料理の所為…！？

アツシュもこんなツツコミキャラじゃないんですが…(どっちかっていうとボケ)、ナタリアの天然ボケに
 振り回されて欲しいなあ。で、その都度大佐にからかわれて欲しいです(笑)
 アツシュはキャラ的に美味しいですよ。ツボりました。まあオリジナルなのに報われなくて本当に不憫な子
 なので、そういうところも含めてお気に入りです。
 電撃マ王の外伝読んだんですが、過去に自力でキムラスカに戻ったのにあんな光景見せ付けられて絶望してる時に
 ヴァンにあんな事言われたらルーク以上にヴァン大好きっ子になって、それこそヴァンの手足となって働きそうな
 もんですが、どうなんだろう…？最初はそうだったかもしれませんが、あの光景見て全てに裏切られたって思ったん
 だから、例え後にヴァンの計画の真意を知ったとしても彼を裏切ってナタリアの為、国の為とあれこれ動いたりとか
 かないと思うんですが…。むしろキムラスカの人達を恨んでてもおかしくない訳で。それともあの過去話の後で、
 またナタリアに思いを募らせてしまうような出来事が？あったのか…！？あ、それだったら辻褄があうかな。
 そうだったらいいなあ。…何か色々妄想してしまいます(笑) それにしても子アツシュは可愛い。

自分はルークじゃないと言いながらもナタリアに過去の思い出話したり、敵からかばったり、地震の時は咄嗟に
 身体支えてあげたり、落ち込んだ時に励ましたり、ピンチに駆けつけたりと、健気で一途ですよ。ね。
 ただ素直じゃないだけで。でもあんな仕打ち受けてたらひねくれて当然か…。最後の最後でしか自分をルークと
 認めてくれないけど、それをナタリアの前できちんと認めて欲しかったなあと思いました。二人が会うのって確か
 グランコクマが最後ですし。…だから、せめてナタリアの前でだけでもルークに戻ったらいいかなあとか思って、
 この漫画を…せめてこの漫画の中だけでも…っと思ったんですが、上手く表現できなかつた…_|_|O
 後、鏡窟過ぎ辺りではまだ時期的に早い気もしますが、本当は早く自分もルークと認めたいし、認められたいん
 じゃないかと思ひまして。ただ素直になれないだけで、大好きなナタリアに言われたら少しは認めてくれたり
 しないかなあ…淡い願望を抱きつつ、こんな感じになりました。

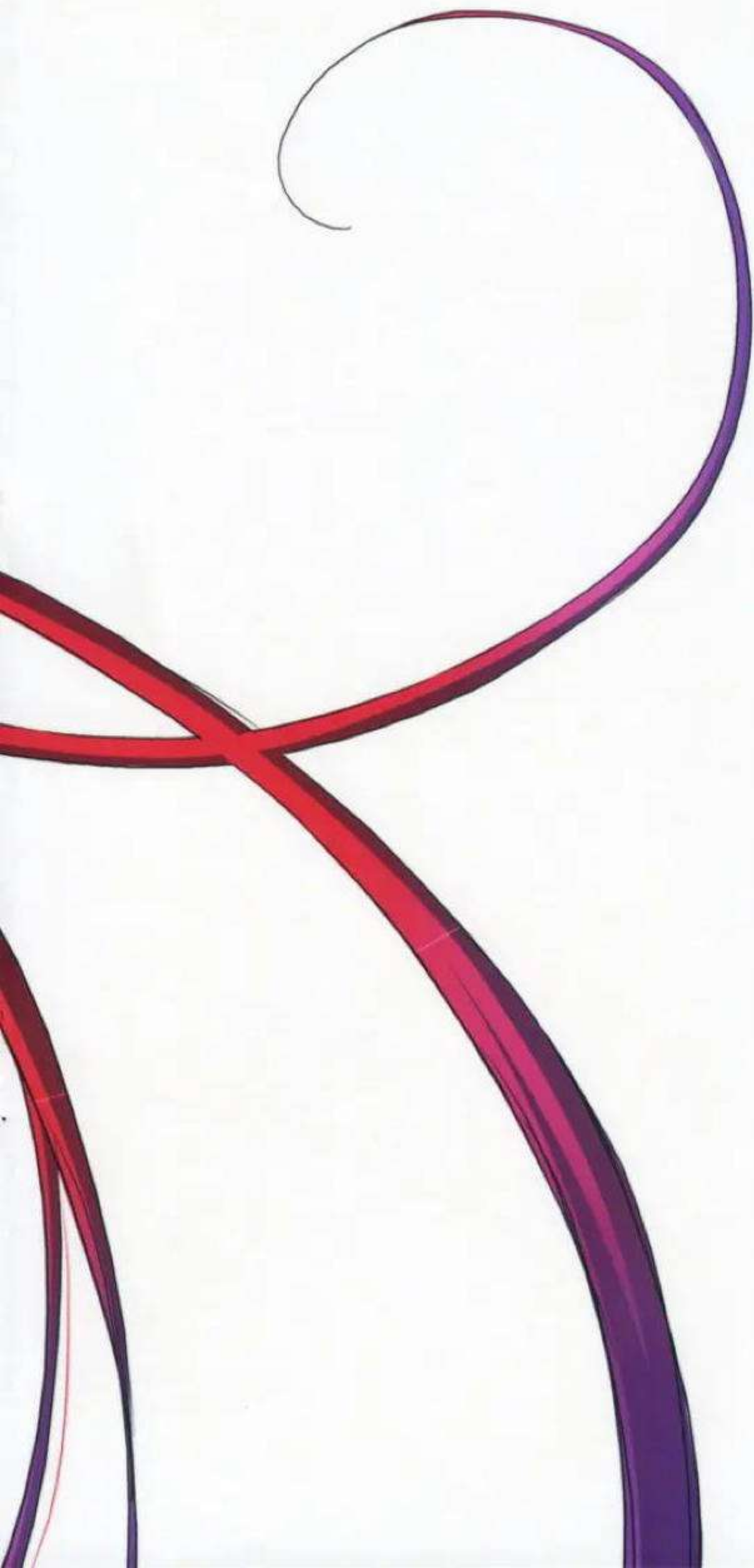
あー、しかし本当に漫画は難しいです。読み難かったらすみません。後ネタとか被ってないよね…。
 他の方の作品とか恐くて見れないので。自分の非力さに凹むもの。我ながら情けないけど…。
 ただ本当に愛だけはあるので、アツシュナタ本というか真の(?)ルクナタ本ですけど、まあこんなのもあるかな？と
 思って広い海のように広い寛大な心で読んでいただければ幸いです。私ももっと修行しますので…。
 それでは、長くなりましたがこの辺で。買ってくださった方がいましたら本当にありがとうございました！
 次回また冬コミにてお会いしましょう。

H O N E Y E D

TALES OF THE ABYSS ASCH & NATALIA BOOK

Written by vanilla&room-102. 2006 August 13
Thank you for Print.Kanazawa

HP <http://www1.ocn.ne.jp/~cua/>



102号室

presented by vanilla2006

for adult only



102号室
presented by vanilla2006

H O N E Y E D

TALES OF THE ABYSS ASCH & NATALIA BOOK